



優秀な「地方学生」を採用する3つのポイント

株式会社ジェイック

稲本 太郎 / Taro Inamoto



株式会社ジェイック 新卒事業本部シニアマネージャー

新卒で入社して16年間、新卒・中途の採用コンサルティング、キャリアカウンセリング、マネジメントを経験。社内でも有数の経験豊富なコンサルタントであり、自社採用の面接官も兼任する。新人賞、トップセールス賞、MVT、社長賞、特別賞、社内の優れた仕事を選出するベストプラクティスへの最多ノミネートなど数々の受賞実績有り。



左から長女、次男、次女、長男です。
日本の人口増に貢献しています！
(笑)



長男は世界ランク3位以内のサッカー選手を目指して日々頑張っています！



次男は日本代表のサッカー選手を目指して頑張っています！

会社案内

Mission

企業のホームドクター
人材のメンターとなり
人と組織の限らない可能性に
貢献し続ける

Vision

「学ぶ楽しさ」「働く幸せ」
「成長する喜び」に
満ちあふれた社会を実現する



2019年10月29日 東証マザーズ上場

7つの習慣®研修

原田メソッド研修

新人研修、若手研修

リーダーカレッジ®

各種セミナー、教材

教育支援

採用支援

就職カレッジ®

女子カレッジ®

セカンドカレッジ®

FutureFinderメディ

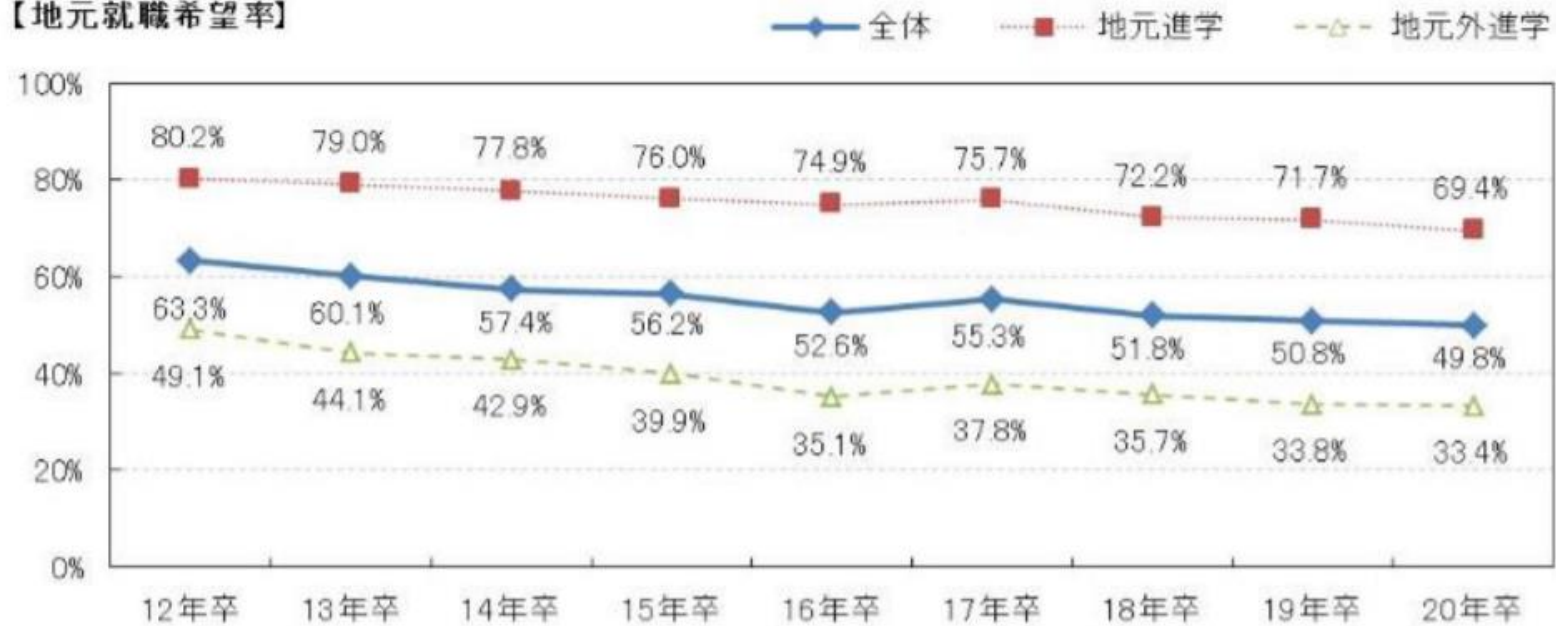
ア新卒カレッジ®

首都圏の学生と地方学生は何が違うのか？
採用計画をどう立てるべきか？

地域ごとの学生卒業生数と就職者数

学生の地元就職希望の推移

【地元就職希望率】



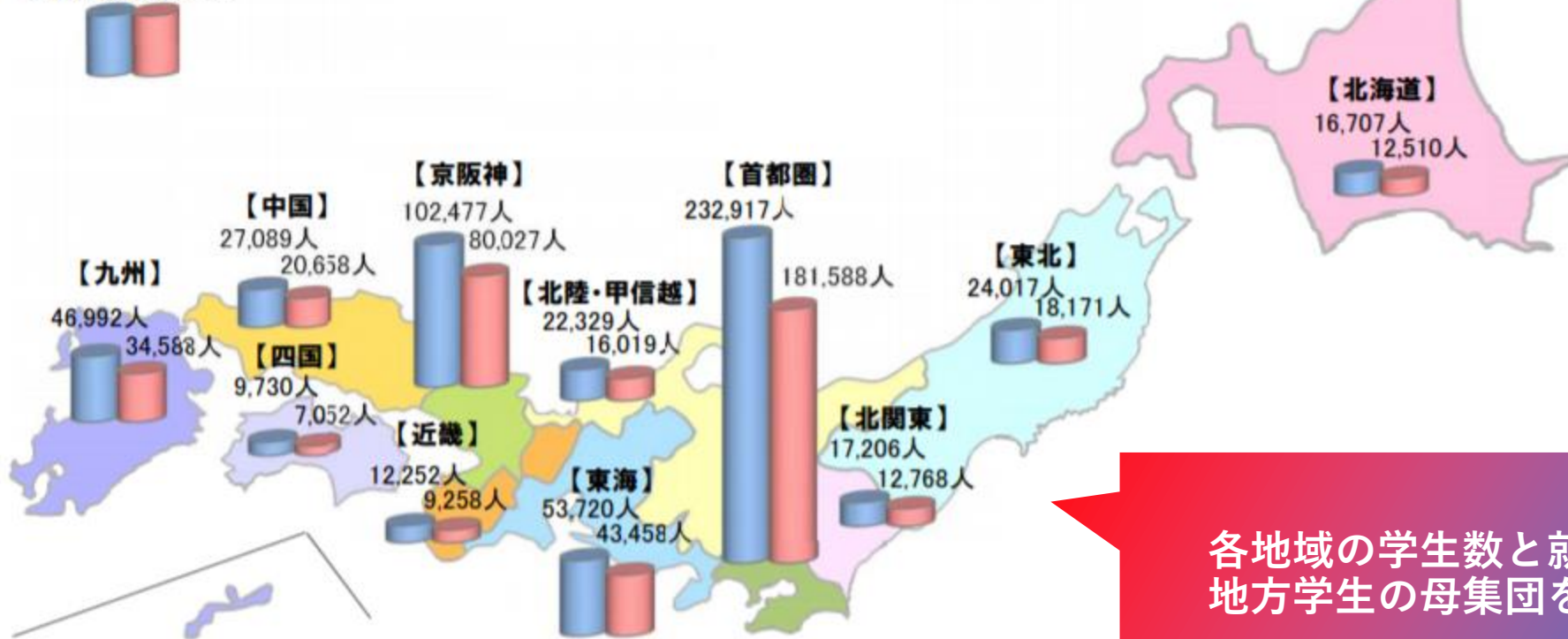
地元で就職をする
学生は減少している

【地元進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に一致
【地元外進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に不一致

地域ごとの学生卒業生数と就職者数

■ 2018年卒者の地域別卒業生数、就職者数（人）

卒業生数 就職者数



各地域の学生数と就職数から
地方学生の母集団を把握する

地域ごとの学生卒業生数と就職者数

2) 大学キャンパス所在地から見た地域別の就職先分布（大学生・就職先確定者/単一回答）

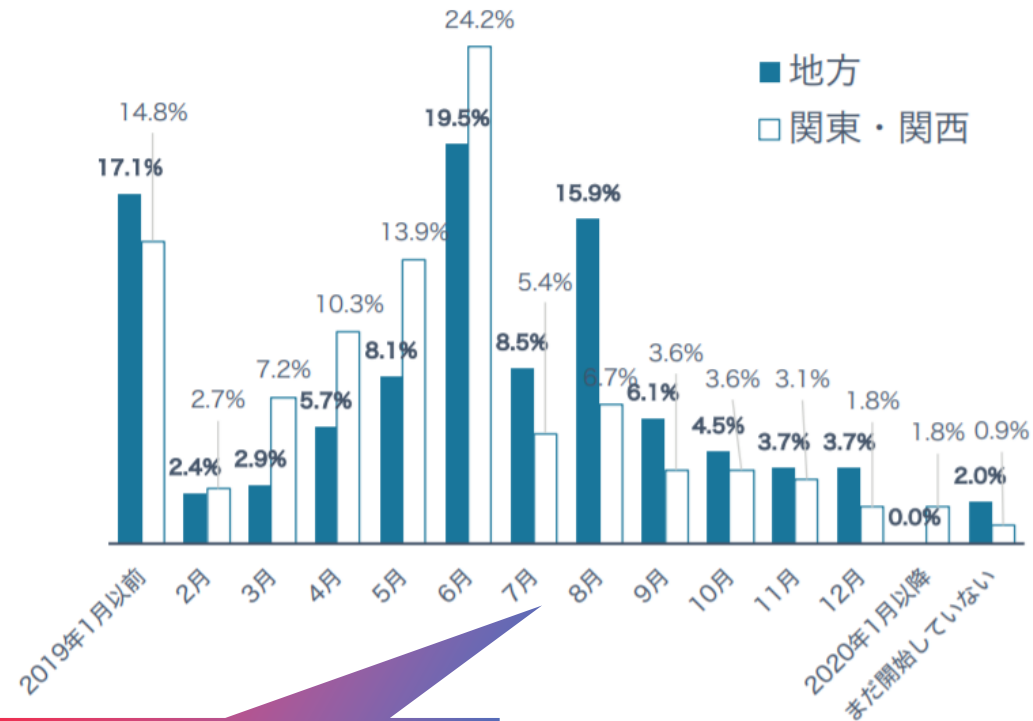
(%)

2019 年卒			n	就職地											
				北海道	東北	北関東	首都圏	北陸・ 甲信越	東海	京阪神	近畿	中国	四国	九州	海外
	大学キャンパス所在地														
	北海道	(103)	68.9	—	1.9	21.4	1.0	2.9	1.0	—	1.0	—	1.9	—	
	東北	(156)	1.9	60.9	1.3	27.6	1.9	3.2	1.9	—	0.6	0.6	—	—	
	北関東	(73)	1.4	12.3	37.0	41.1	4.1	2.7	1.4	—	—	—	—	—	
	首都圏	(1,031)	0.7	0.7	2.7	86.9	2.3	2.8	2.4	—	0.3	0.2	1.0	—	
	北陸・甲信越	(155)	0.6	3.9	0.6	19.4	59.4	9.0	5.2	1.3	0.6	—	—	—	
	東海	(327)	—	0.3	0.3	16.2	3.7	72.5	4.6	0.9	0.6	0.6	0.3	—	
	京阪神	(599)	0.3	0.3	0.3	25.2	1.5	3.2	60.3	4.5	1.5	2.2	0.7	—	
	近畿	(91)	1.1	—	—	17.6	3.3	6.6	45.1	16.5	5.5	1.1	3.3	—	
	中国	(139)	1.4	—	—	21.6	2.9	5.0	11.5	1.4	39.6	5.8	10.8	—	
	四国	(83)	—	1.2	2.4	12.0	—	2.4	10.8	—	4.8	61.4	4.8	—	
	九州	(210)	—	—		22.4	0.5	1.4	3.3	—	3.8	0.5	68.1	—	

母数と就職率を加味して、
具体的なターゲット地域を選定する

就活ケジュールの違い

就活を開始した時期



▽2020年2～6月にかけて就活を開始した

地方学生は関東・関西の学生と比べ、
全体的に5ptほど下回っている。

▽地方学生の動き出しのピークは6月。

およそ2割が開始している。

▽地方学生は8月に動き出す層も約16%。

2度目の動き出しのピークと言える。

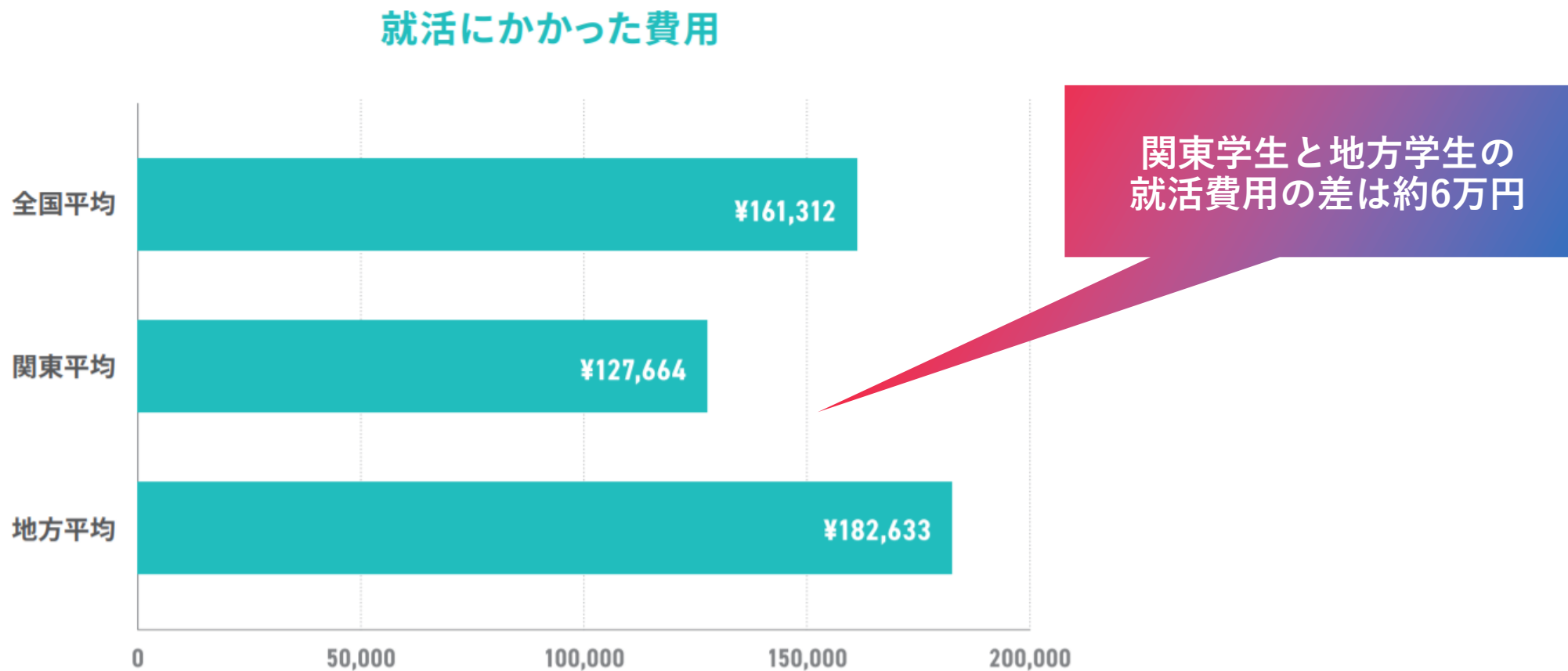
▽就活を「まだ開始していない」と回答した
地方学生は約2%。

長期休みが地方学生の
動き出しのポイントになる

「エリア外への就職」には覚悟が必要になる

- ①首都圏の学生よりも**お金**と**時間**をかけている
 - ②環境を変える**勇気**がある
-

「エリア外への就職」には覚悟が必要になる



中堅中小企業への希望者が首都圏より多い

首都圏よりも大手企業を希望する学生が少ない

⇒中堅中小、ベンチャー企業にもチャンスがある

	全体	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州
回答数	48,064	1,787	2,075	15,828	1,109	5,792	1,420	10,932	2,945	955	5,142
絶対に大手企業がよい	8.9%	7.3%	6.6%	10.5%	5.3%	7.0%	4.9%	8.9%	5.2%	5.5%	8.0%
自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい	43.8%	43.8%	40.9%	44.6%	33.2%	42.7%	37.2%	44.4%	39.0%	40.7%	44.8%
やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい	36.1%	36.5%	39.4%	34.6%	43.6%	37.7%	41.6%	36.6%	40.6%	40.3%	35.8%
中堅・中小企業がよい	7.3%	7.3%	8.4%	6.5%	11.8%	8.2%	12.7%	6.8%	10.7%	9.6%	7.4%
その他(公務員 Uターン志望など)	3.4%	4.4%	4.0%	3.3%	5.6%	4.0%	3.2%	2.9%	3.9%	3.5%	3.4%
自分で会社を起こしたい	0.5%	0.8%	0.7%	0.4%	0.5%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%	0.6%
「絶対に大手企業がよい」+「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」	52.7%	51.1%	47.5%	55.1%	38.5%	49.7%	42.1%	53.3%	44.2%	46.2%	52.8%
「やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい」+「中堅・中小企業がよい」	43.4%	43.8%	47.8%	41.1%	55.4%	45.9%	54.3%	43.4%	51.3%	49.9%	43.2%

地方学生に会う手段はどんなものがあるか

①地方大学の学内説明会に参加する

②地方会場で説明会・選考を実施する

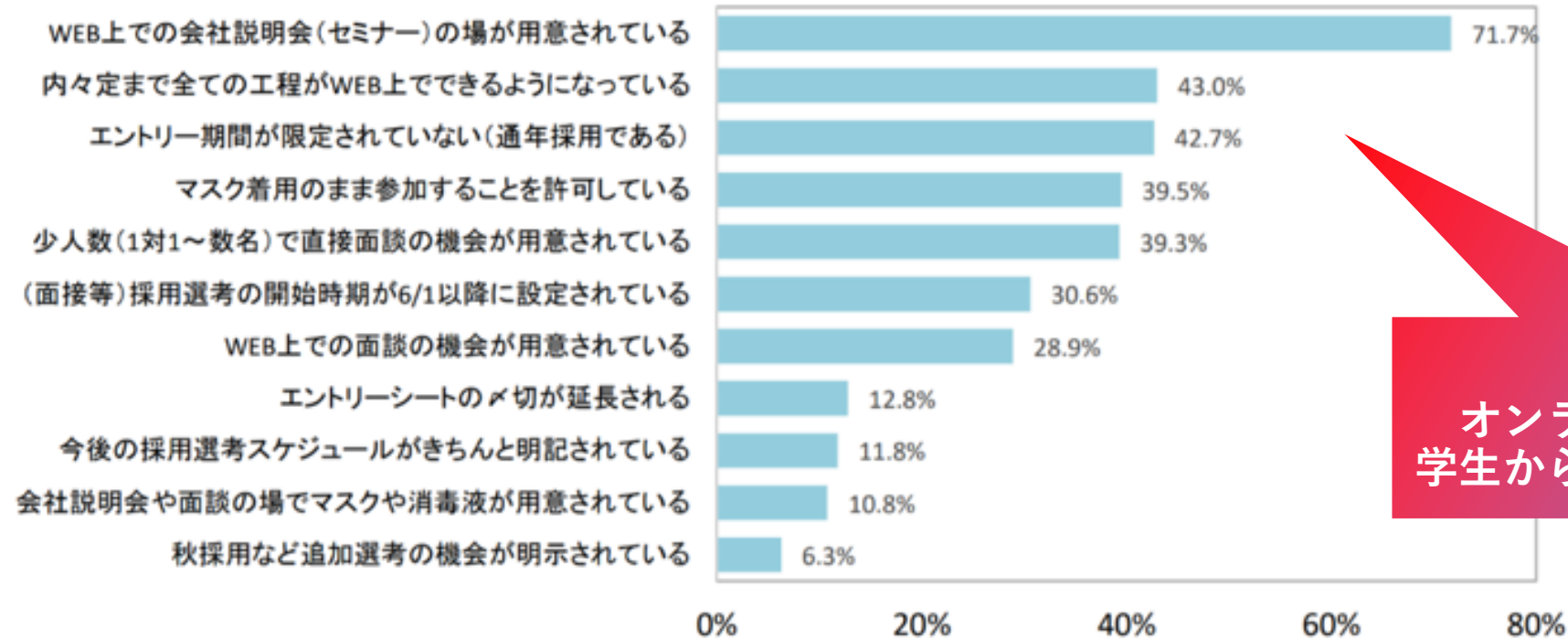
③地方イベントに出展する

④オンラインでの説明会・選考を実施

⇒**オンラインを活用すると、低コストで出会う数を広げられる**

オンライン化によって、採用はどう変わるのか？

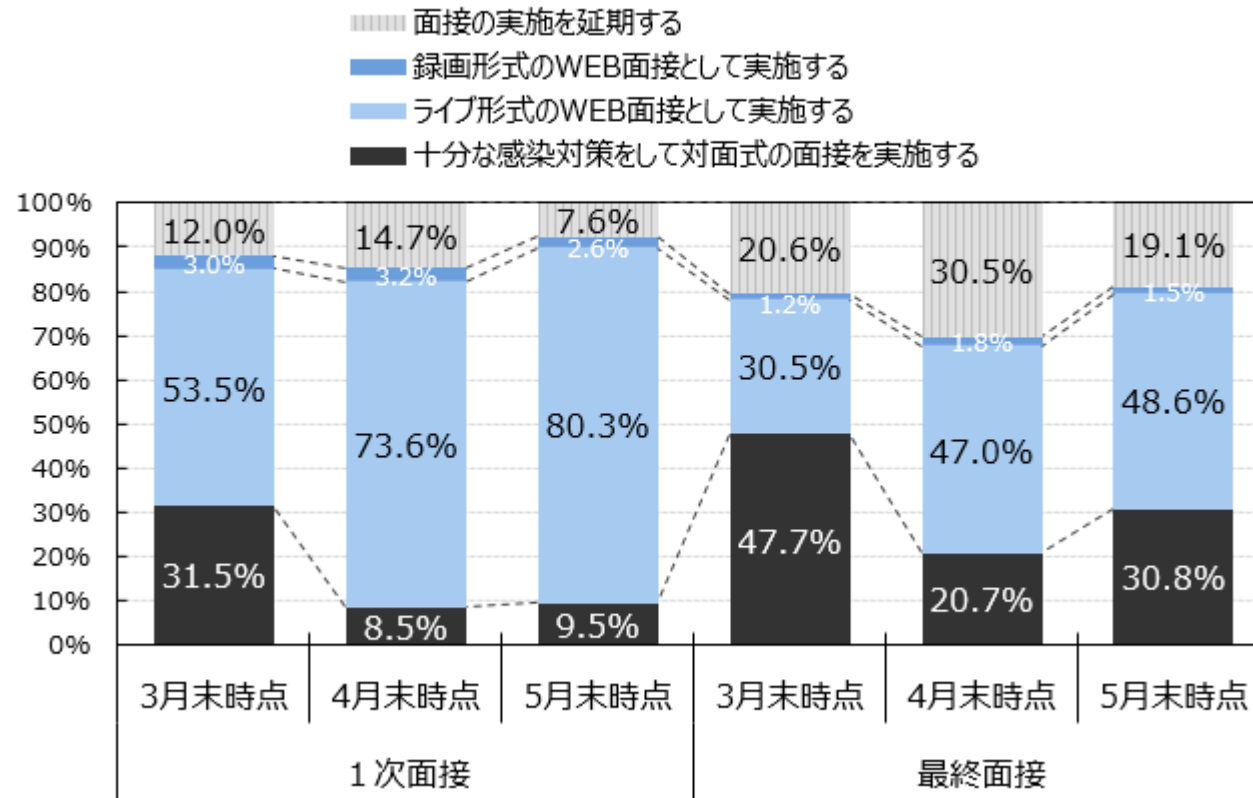
＜就職活動に関わる新型コロナウイルスの企業対応のうち、企業の印象が良くなる対応＞



コロナ禍により、
オンライン環境が整った企業が
学生から好印象を受けやすくなった

オンライン化によって、採用はどう変わるのか？

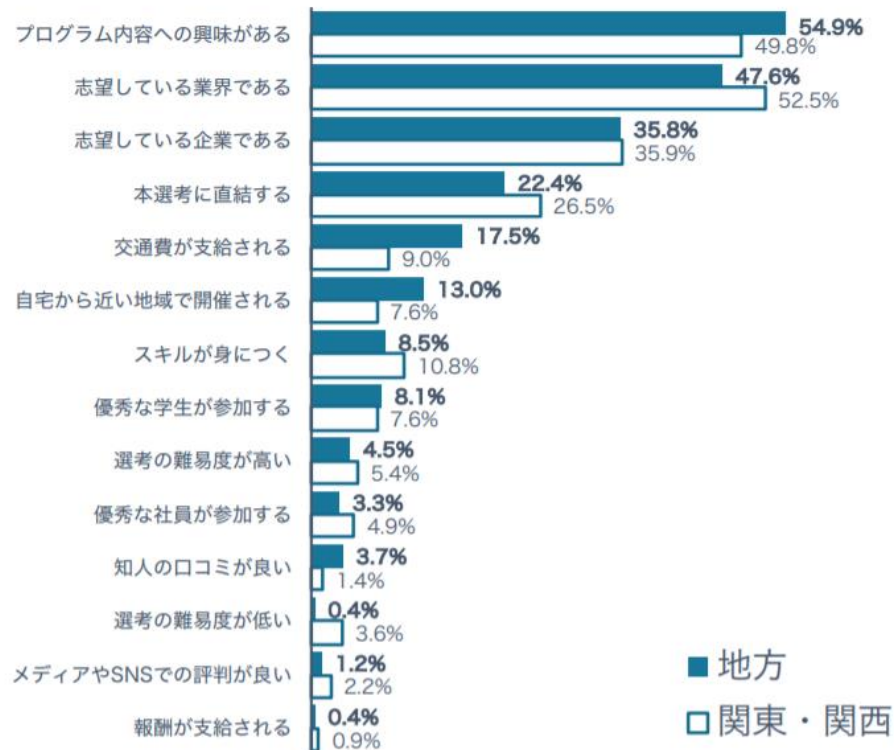
面接に関する企業の対応で、最も適切だったと思われるもの



約半数の学生がWEB面接が適切だったと回答

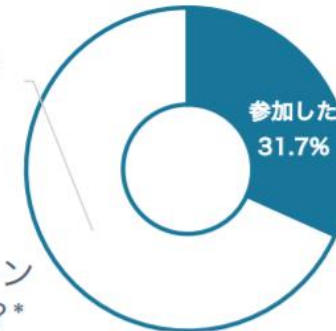
地方学生がインターン選びで重視すること

秋～冬インターンにエントリーする際に
重要視したこと *最大3つまで回答



参加していない
68.3%

東京開催の
秋～冬インターン
参加しましたか？*



*地方学生のみ回答

▽インターンの「内容への興味」を重要視する

地方学生は関東・関西の学生よりも5pt多く、
志望度が高くなくても魅力的なプログラムで興味
を惹きつけやすい傾向にある。

▽「自宅から近い地域で開催される」ことや
「交通費が支給される」ことを重要視する

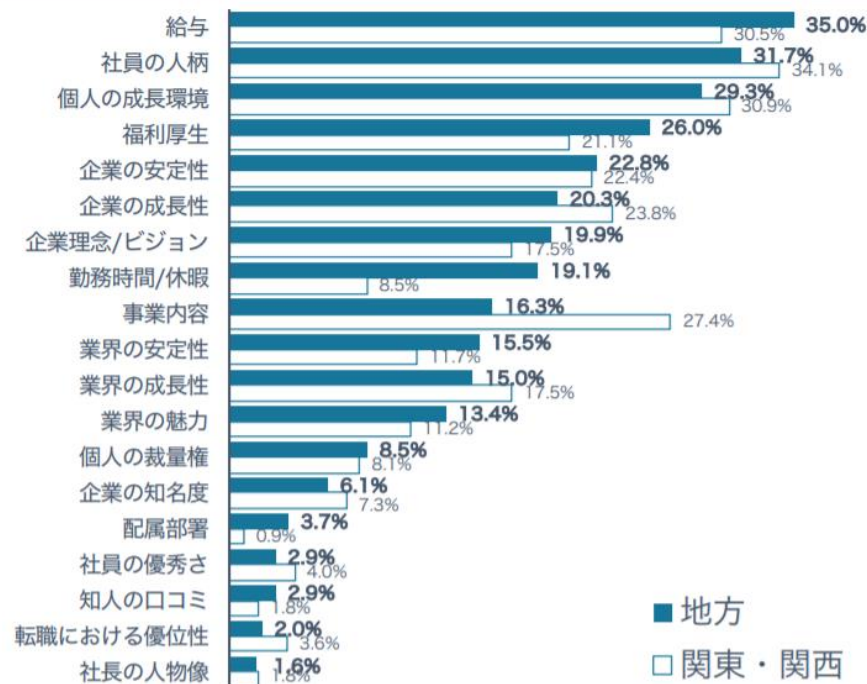
地方学生は関東・関西の学生よりも5pt以上多い。

▽「東京開催」のインターンに7割が「参加してい
ない」ことから、距離や交通費が地方学生の
就職活動の妨げになっていると言える。

地方学生「交通費」が負担
交通費の支給は地方学生集客の
ポイントの一つになる

地方学生が入社するときに重視すること

入社先を選ぶ際に
重要視したいこと *最大3つまで回答



▽地方学生が最も重要視するのは「給与」で3割強。

次点で「社員の人柄」「個人の成長環境」が3割程度とつづく。

▽関東・関西の学生が4番目に重要視した「事業内容」は地方学生にとって優先度が低く、10pt下回り、優先順位も9番目まで落ち込む。

▽地方学生は、企業や業界の「成長性」よりも「安定性」を重要視している。

▽地方学生は関東・関西の学生と比べ、「給与」(+4.5pt)や「福利厚生」(+4.9pt)「勤務時間/休暇」(+10.6pt)など待遇面を重要視する傾向にある。

地方学生は就職に伴って、
1人暮らしになる確率が高く、
待遇面が気になる比率は高くなる
⇒丁寧な説明が必要

優秀な「地方学生」に選ばれるための
採用のポイントは何か？

優秀な「地方学生」に選ばれるためのポイント

- ①ターゲットエリアの選定
 - ②地方学生を採用するための採用フロー設計
 - ③地方学生の志向にあったアプローチでの口説き
-

地方学生を採用するための採用フローを設計する

<オンライン完結型>

オンラインインターン・説明会



オンライン座談会



オンライン面接



内定



オンライン懇親会

地方学生を採用するための採用フローを設計する

<ハイブリッド型>

オンラインインターン・説明会



オンライン座談会



一日完結現地選考



最終面接

地方学生の志向にあったアプローチ

- ① 地元ネタでのアイスブレイクで心のドアを開く
 - ② 成長環境をしっかりと伝える（上京する理由の大半は「成長」）
 - ③ 社風のマッチングを伝える（1人で飛び込むから重要度が増す）
 - ④ 同郷/同エリアの社員事例を伝える、会わせる（自分も実現できる）
 - ⑤ 待遇や福利厚生は丁寧に解説して、1人暮らしの不安を解除する
-

優秀な地方学生を採用するチャネルのご紹介

高能力低競争 人材を新卒採用するHRテックサービス

地方のミカタ サービス紹介

地方学生の就活、企業の地方採用を支援する オンラインのマッチングシステム

就活サポートサービス

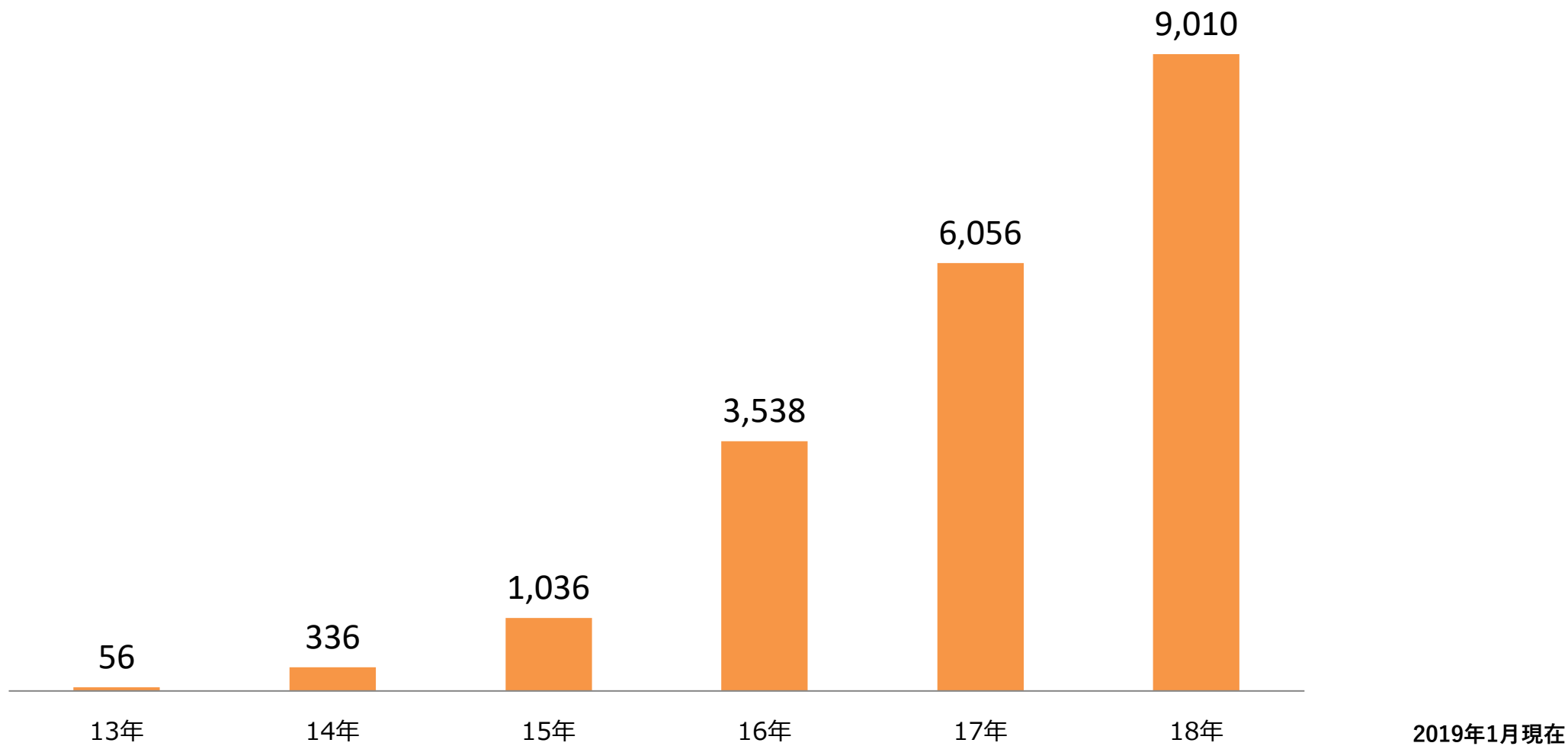


採用スカウトサービス



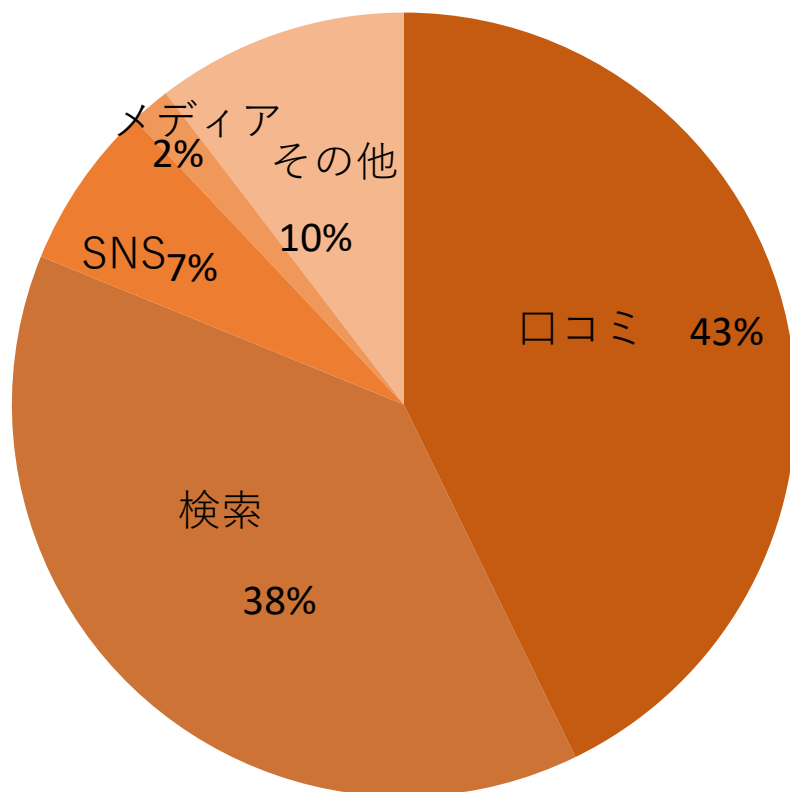
地方のミカタ 利用者数

東京で就活している地方学生、約1万人にアプローチできる！

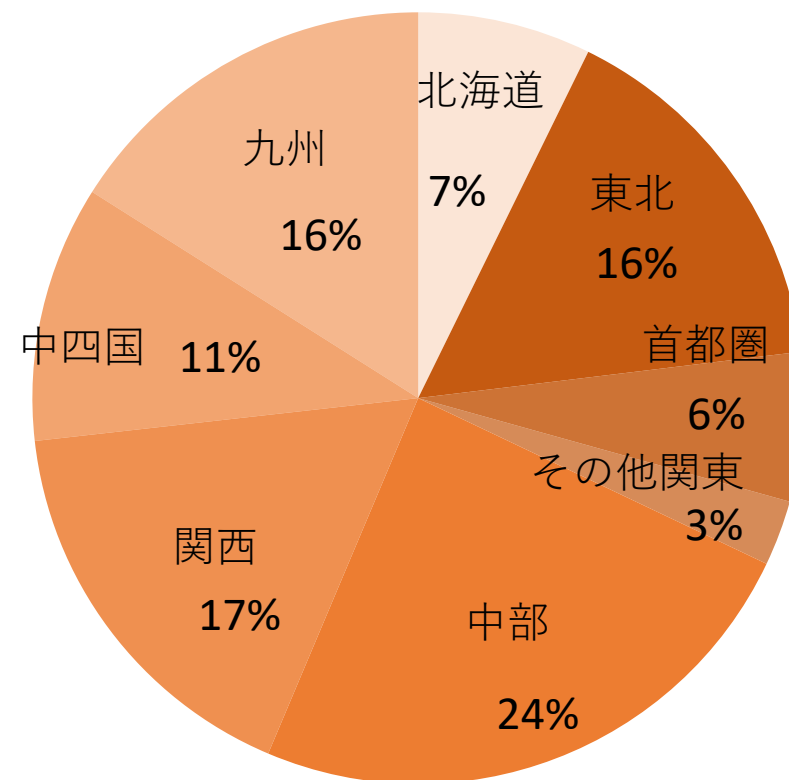


利用学生データ

81 %が口コミと検索で登録



94 %が地方大学生

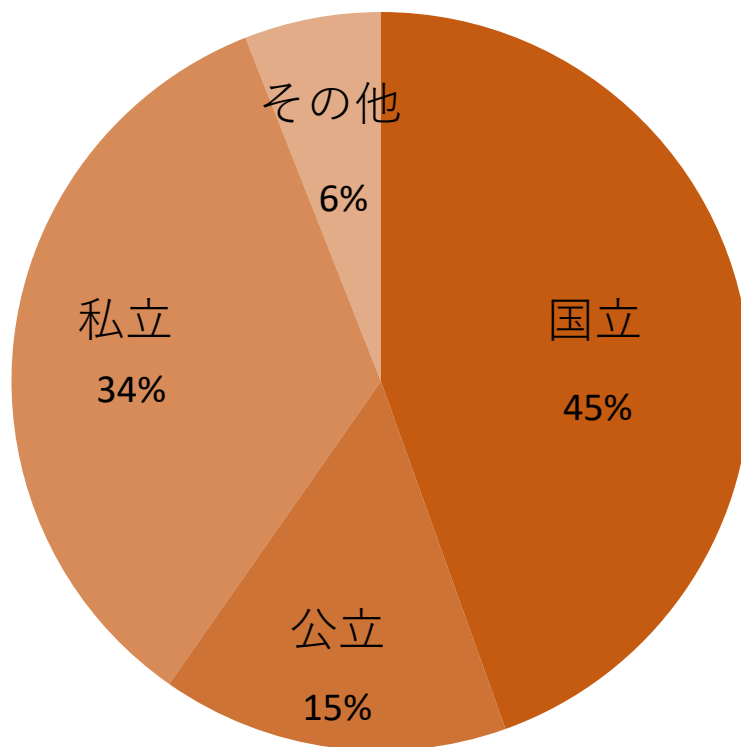


利用学生データ

※2018年10月現在

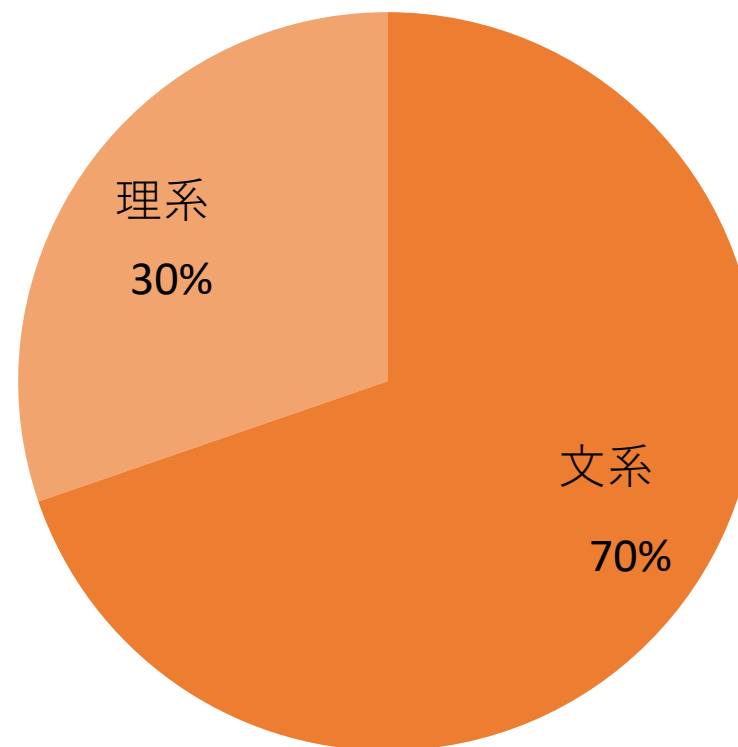
国公立大学比率は

60%強



文理比は

7 : 3



地方のミカタ 利用学生の内定先





就活は通過点、大切なはその先にある

お問合せ先： <https://chihounomikata.com/contact>
